

具体的施策の進捗状況

資料 3

<基本目標①> 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

担当課	国内外への市場拡大及び新商品開発支援【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
水産商工課	官民連携による境港産農水産物の付加価値向上（ブランド化）とPR強化及び販路拡大のための支援体制の充実	【水産商工課】（水産物） 関係機関と連携し以下の取り組みを実施 ・クロマグロPR マグロポロシャツの販売、マグロ集会の開催、マグロのぼりの掲揚、初セリ式の開催(マグロ感謝祭と県外イベントで試食販売はコロナ禍により中止) ・カニPR カニ感謝祭の開催、カニ集会の開催、出漁式・初セリ式の開催(県外イベントで試食販売・カニ汁ふるまいはコロナ禍により中止) ・新市場PR 市場見学ツアー実施、新2号上屋PRイベント（鳥取県水産事務所主催イベントへの協力） ・産地境港PR 高速バス背面広告掲載、Sea級グルメ全国大会八幡浜に出席	【水産商工課】（水産物） 引き続き、境港市産地協議会など官民連携し、以下の取り組みを実施 ・クロマグロPR マグロ感謝祭の開催、マグロポロシャツの販売、マグロ集会の開催、マグロのぼりの掲揚、初セリ式の開催、県外イベントで試食販売 ・カニPR カニ感謝祭の開催、カニ集会の開催、出漁式・初セリ式の開催、県外イベントで試食販売・カニ汁ふるまい ・新市場PR 市場を活用したイベント開催、市場見学ツアーの実施 ・産地境港PR 高速バス背面広告掲載、Sea級グルメ全国大会でPR、山陽や九州でのPR
農政課		【農政課】（農作物） ・特産の伯州綿について、地域おこし協力隊の活用や民間企業との連携を図りながら、情報発信や販路拡大に取り組んだ。 ・白ねぎについては、ブランド化に向けて、関係者と協議を複数回行った。	【農政課】（農作物） ・引き続き関係者と連携し、新商品の作成やイベント等でのPRに取り組んでいく。 ・白ねぎについては、米子市とともに「がんばる地域プラン」を活用し、ブランド力強化や販路拡大を支援していく。
水産商工課	特産品を活用した商品開発への支援や開発した商品の国内外へのPR強化	【水産商工課】（水産物） 関係機関等と連携し、PRなど以下の取り組みを実施 ・水産加工ハンドブックの配布 ・みんなで選ぶ境港の水産加工大賞の開催、イベントでの加工大賞商品の試食販売PRなどはコロナ禍により実施できなかった。	【水産商工課】（水産物） 引き続き、境港市産地協議会などと官民連携し、以下の取り組みを実施 ・イベントで水産加工品のPR、水産加工ハンドブックの更新及び配布
農政課		【農政課】（農作物） ・特産の伯州綿について、地域おこし協力隊の活用のほか、アサヒユウアス㈱と連携し伯州綿の廃棄する枝木を利用したタンブラーの作成や、日本航空㈱の「JALふるさとからの贈り物」に伯州綿のおくみを採用していただくなど民間企業との連携を図り、情報発信や販路拡大に取り組んだ。	【農政課】（農作物） ・民間企業との連携による商品開発やビジネスマッチング等への参加など、伯州綿製品の販路拡大に取り組むとともに、地域おこし協力隊を活用した情報発信等に取り組んでいく。
水産商工課	境港に寄港するクルーズ船に対する県産食材の試食会やPRによる販路拡大の推進	・取組実績なし	・中海・宍道湖・大山圏域市長会と協議、連携し取り組む。
水産商工課	圏域内外の企業を結び付けるビジネスマッチングの開催や圏域企業を紹介するデータベース化などによる支援の推進	・令和4年10月13日、松江市にてビジネスマッチング商談会を実施。圏域内外の企業196社が参加した。圏域のデータベース事業として、令和5年2月現在で707社が登録し、圏域内外からの企業間取引活性化に繋げている。	・令和5年10月19日にビジネスマッチング商談会を米子市で開催予定。
水産商工課	定期コンテナ航路等を活用した販路拡大に対する支援制度の拡充	・境港貿易振興会において、前年度から引き続き国際定期航路を利用する荷主への助成制度を実施。	・境港貿易振興会において、前年度から国際定期航路利用荷主への助成に加え、制度を実施するとともに、リーファーコンテナを利用する荷主への助成や境港を試験的に利用する取り組みに対する補助を行う。
水産商工課	6次産業化に取り組む民間事業者や団体などへの支援制度の整備	・鳥取県とともに6次産業化に取り組む漁業者等への支援制度を整備（R3年度活用実績なし）	・引き続き鳥取県と連携し取り組む。
水産商工課	漁業所得向上のための境港地域漁の活力再生プランの推進	・第2期プランの中間報告と計画の見直しを実施した。	・第2期プランの計画の見直し

担当課	農業・水産業の担い手育成・確保 【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
水産商工課	沿岸、沖合漁業等への新規就業希望者への研修等を実施する事業者への支援や新規就農者の就農初期費用の助成などの新規就業環境の充実	・漁業研修事業の実施 令和４年度17人（修了後就労者11人、翌年度へ継続者6人）	・漁業研修事業の継続実施 令和５年度24人予定（前年度から継続6人、新規18人予定）
農政課	国及び県との連携による就農に対する給付や住宅整備などの支援	・生活基盤が脆弱な新規就農者の経営安定を図るため、機械・施設等を整備する費用等の支援を実施。 ※農業次世代人材投資資金：3件 就農条件整備事業：5件 農地賃借料助成：7件 就農応援交付金2件	・引き続き各種支援を継続して実施していく。 ・IJUターンで市内に移住する認定新規就農者に対しては、要望があれば、家賃又は空き家の修繕費等の一部補助を行う。
農政課	荒廃農地の有効活用を図るため、農地中間管理機構による農地の流動化の促進	・農地中間管理機構を通して39haの集積を行った。	・農地中間管理機構を通しての市内農地集積面積の合計は、145haを目標に取り組んでいく。
農政課	既存施設を活用した「伯州綿」に触れる機会の創出や官民連携した学ぶ場の創出	・市内各公民館に伯州綿プランターを設置したほか、市民団体（子どもたちと綿をつくろう会）と連携した小学生の体験学習を実施し、伯州綿に触れ合う機会を創出した。	・小学生が伯州綿に触れ合う機会を増やすため、伯州綿の体験学習を行う小学校数を増やすなど、体験学習の充実・拡大を図りながら継続的に実施していく。
農政課	「伯州綿」の種まきから収穫までを体験できる場の創出	・伯州綿の種まきから収穫まで一貫して栽培に取り組む伯州綿栽培サポーター制度や収穫体験を実施。催し「てぬぐいひらひら」においても収穫体験を実施。 ※サポーター：46組・136人 種まき体験（10人） 収穫体験（32人） てぬぐいひらひら収穫体験（19人）	・伯州綿栽培サポーターが育てやすい環境を創出し、サポーター数を増やす。 ・親子種まき、収穫体験に大勢参加していただけるよう内容を検討し実施していく。
水産商工課	産業界における外国人材等との交流の促進	・ベトナムからの国際交流員によるSNS等での情報発信を行い、現状把握と課題解決に努める。 ・感染対策をしたうえで、11月に対面での交流会を実施した。 ・オンライン・対面併用での日本語教室を実施し、新型コロナウイルスの感染が落ち着いた2月には対面のみの日本語教室を再開した。	・年2回の交流会を開催予定。 ・対面での日本語教室を年15回程度実施予定。 ・市内に居住する外国人を対象としたフォトコンテストを実施し、応募作品の写真展を通して、市民の理解を図る。
担当課	企業誘致及び起業・創業の拡大 【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
水産商工課	企業訪問や展示会等への参加及び企業誘致推進体制の整備	・コロナ禍により、思うような活動ができなかった。 ※立地企業2社（㈱中浜運輸、㈱羽根）	・鳥取県、企業局等、関係機関と共に誘致活動を実施していく。
水産商工課	地域の特性・実情に応じた業種に対する企業誘致活動の推進	・コロナ禍により、思うような活動ができなかった。 ※立地企業2社（㈱中浜運輸、㈱羽根）	・鳥取県、企業局等、関係機関と共に誘致活動を実施していく。
水産商工課	企業立地と雇用の拡大を図るため、操業時の投下固定資産総額、新規雇用人数に応じて、企業立地補助金、固定資産税減免、雇用奨励金などによる支援制度の充実	・申請された計画に基づき、対応する支援を行った。 ※固定資産税の課税免除： エンチーム㈱（～令和4年度） ㈱澤井珈琲（～令和4年度） 企業立地促進補助金： 尾澤運送㈱（～令和5年度） ㈱澤井珈琲（令和4年度～）	・申請された計画に基づき、対応する支援を行う。 ※固定資産税の課税免除：㈱門永水産（令和5年度～） 企業立地促進補助金：尾澤運送㈱（～令和5年度） ㈱澤井珈琲（令和4年度～） ㈱旭食品（令和5年度～） 雇用促進奨励金：㈱門永水産 （同）境港エネルギーパワー ㈱澤井珈琲
水産商工課	境夢みなとターミナルとの相乗効果により、物流・人流の拡大に資する企業・施設の誘致活動の促進	・境港貿易振興会をはじめとする関係機関と連携を図り、境港利用促進セミナーや企業訪問を通じて、ポートセールスを実施した。 ※竹内団地における立地企業2社（㈱中浜運輸、㈱羽根）	・引き続き関係機関と連携して、ポートセールスを実施する。

水産商工課	県と連携し、創業時の初期投資の補助や創業資金の利子補給などの支援体制の整備	・創業支援補助金により、新規創業に係る初期投資への支援を図った。 ※創業支援補助金実績 10件	・引き続き、商工会議所等と連携し、創業時の初期投資への支援を図る。
水産商工課	地域ファンドや官民ファンドなど金融支援体制についての検討	・取組実績なし	・ニーズの掘り起しを行い、必要に応じ関係機関と協議していく。
水産商工課	小規模事業者向け融資の利子補給など支援体制の整備	・小規模事業者向け融資の利子補給など各種制度資金の運用を円滑にし、資金面の支援を実施した。 ※小規模事業者経営改善資金利子補給補助金実績 3件	・引き続き、関係機関と連携を図り、支援を実施していく。
農政課	国産材、県産材の消費量増加を図るため、施設整備に対する支援	・取組実績なし	・引き続き施設整備の要望があれば「木質空間モデル施設整備推進事業」を活用する等、支援を検討していく。
水産商工課	企業誘致推進などの委員会の民間委員の委嘱や協定締結などの官民連携強化の促進	・本市にゆかりのある方を、企業誘致・物産観光推進委員に委嘱。その他、米子高専、山陰合同銀行、鳥取銀行と業務協力に関する協定を締結している。	・引き続き、本市にゆかりのある方の協力を得ながら企業誘致等を推進する。また協定締結先との連携強化に取り組んでいく。
水産商工課	鳥取県西部地域の「創業サポートセンター」や相談窓口などでの創業に向けた支援体制の充実	・鳥取県西部9市町村で設置した「鳥取県西部創業サポートセンター」における創業支援相談窓口（各市町村・商工会議所（商工会）等）において、支援を行った。	・引き続き、相談窓口における支援を関係機関と連携して行っていく。
水産商工課	夜間の賑わい創出の一助となるような宿泊施設をはじめとした企業誘致活動の促進	・コロナ禍により、思うような活動ができなかった。	・関係機関と共に誘致活動を実施していく。
担当課	観光地の魅力度向上による滞在型観光の推進【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
建築営繕課	水木しげるロードの官民連携による街並み整備の促進	・沿道店舗・住宅における街並み環境整備事業（修景補助）について、令和4年度は4件補助金を交付し、工事が完了した。	・引き続き、沿道店舗・住宅における修景補助を行う。 （令和5年度予算5件）
観光振興課	水木しげるロードのライトアップなど夜間の賑わい創出及び滞在時間延長の取組の推進	・影絵（河童と三平、たぬき）の追加、季節限定の影絵の投影とマスコミを生かした情報発信を行った。土曜夜市の開催支援及びステージイベントの実施。 ・また土曜夜市にあわせて皆生温泉、米子駅前と水木しげるロードを結ぶシャトルバスの試験運航を実施し、賑わいの創出に努めた。	・影絵（悪魔くん、死神、テレビくん）の製作投影、季節限定の影絵の投影と情報発信を行う。土曜夜市の開催支援及び参画。 ・また民間企業とコラボレーションし、音声ARアプリという新たなコンテンツを用いた実証実験を行い、これまではない夜の魅力度向上を図ることとしている。
観光振興課	観光客の満足度の向上を図るため、水木しげる作品のキャラクターの着ぐるみによるおもてなしの充実	・コロナ禍においても感染症の予防対策をしっかりと行いながら、年間を通じて着ぐるみを登場させ、おもてなしの充実を図った。	・GWに着ぐるみを登場させ、記念撮影が出来るよう体制を整えた。コロナ禍が収束に向かっており、年間を通して着ぐるみと写真撮影できる体制を整え、妖怪ハロウィンでは仮装イベントを開催するなど、観光客の満足度を向上させる取り組みを引き続き実施する。
観光振興課	圏域内観光情報アプリの活用などの観光ICT化の推進	・圏域観光局HP上で、旅行者がスマホを利用し自ら圏域周遊ルートを作成することができる「セレクトトリップ」機能が追加された。 ・中海・宍道湖・大山圏域観光局の事業として、BIPROGYの観光マーケティングDX 実証実験により、人流分析を行い、観光ICT化に向けた基礎データを徴取した。	・圏域周遊促進機能「セレクトトリップ」の維持管理、山陰まんなか観光局公認アンバサダーによるSNSを活用した観光情報の発信を行う。 ・BIPROGYの観光マーケティングで利用したセンサーカメラは引き続き境港市観光案内所に設置し、継続した人流分析を行い、今後の誘客対策に役立てる。
観光振興課	水木しげるロードと他の観光施設を結ぶ無料シャトルバスの運行などの二次交通の充実	・市内観光施設無料シャトルバスはコロナ禍により未実施。 ・土曜夜市の開催（7/30、8/6、8/13、8/20、8/27）に合わせて、皆生温泉及び米子駅前からシャトルバスの試験運行を実施。 （米子駅⇨ロード8組20人、皆生温泉⇨ロード15組56人）	・市内観光施設無料シャトルバスは、運行を行っていた実行委員会（夢みなど公園まつり実行委員会）が事業を廃止。 ・音声ARの実証実験の実施（7/21～8/31）に合わせて、JCBが金、土、日曜日を中心に15回、皆生温泉と水木しげるロードの間でシャトルバスを運行する。

水産商工課		【水産商工課】 ・水産まつり コロナ禍により中止 ・まぐろ感謝祭 コロナ禍により中止 ・カニ感謝祭 1月15日開催 600人 ・中野港漁村市 5月開催 500人 ・境漁港見学ツアー 令和4年度 1,149人参加 【観光振興課】 ・コロナ禍により、多くの来場者が集まるイベントは中止。 ・水木しげるロードと新しい市場をつなぐ誘導看板及びアスファルト表示により、相互誘客を図ったほか、境港観光協会において、おさかなパーク見学動画や料理動画などを公開し、水産を生かした観光の推進を図った。	【水産商工課】 引き続き、イベントの充実等により、水産資源を生かした観光振興を図る ・水産まつり 10月開催 ・まぐろ感謝祭 6月開催 ・カニ感謝祭 1月開催 ・中野港漁村市 5、6、7、9月開催 ・境漁港見学ツアー 【観光振興課】 ・コロナ禍の収束に伴い新しくなった県営境港水産物卸売市場で4年ぶりにまぐろ感謝祭を開催し、大勢の人で賑わった。 ・水木しげるロードと新しい市場をつなぐ誘導看板やおさかなパークなどのPR動画により、引き続き水産との連携を図る。
観光振興課	水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭、境漁港見学ツアー等のイベントの充実など、水産資源を生かした観光の推進		
生涯学習課		【生涯学習課】 ・スポーツツーリズムについては、民間団体がセーリング体験やクルージング等のレジャー事業を展開している。 【観光振興課】 ・スポーツツーリズムは、NPO法人によるセーリング体験のほか、民間事業者によるクルージング等のレジャー事業が展開されている。 ・ブルーツーリズムでは、境港水産振興協会による漁港見学ツアーがコロナ禍でも継続実施されており、インバウンド対策として外国語対応可能なガイドが配置されている。 ・水産まつり コロナ禍により中止 ・まぐろ感謝祭 コロナ禍により中止 ・カニ感謝祭 1月15日開催 600人 ・中野港漁村市 5月開催 500人 ・境漁港見学ツアー 令和4年度 1,149人参加	
観光振興課	セーリングなどのマリンスポーツを始めとしたスポーツツーリズムやブルー・ツーリズム（漁村滞在型余暇活動）などを推進する体験メニューの造成と受入体制の整備		【生涯学習課】 ・スポーツツーリズムについては、民間団体がセーリング体験やクルージング等のレジャー事業を展開する予定である。 【観光振興課】 ・みなと祭の一環として、セーリングクルーザー体験やビーチバレー大会の開催を実施し、海を生かしたスポーツツーリズムに努める。
観光振興課	既存観光施設のブラッシュアップ（磨きあげ）と名所や旧跡などの新たな観光資源の掘り起こしによる観光地の魅力度向上	・開通50周年を迎えた境水道大橋の記念式典、ウォーキング大会、写真展を開催し、観光資源の魅力度向上を図った。	・水木しげる記念館のリニューアル工事に伴い設置されている仮囲いを使い、リニューアルや映画、アニメのPR、SNS映えするフォトスポットとなるイラストの制作について関係機関と協議中。 ・水木しげるロードは30周年の節目となることから、アニメ関係機関、企業とのコラボレーションにより、何度来ても楽しめる参加型、市内周遊型の企画など計画している。
観光振興課	「みなと祭」や「境港妖怪ジャズフェスティバル」などの賑わい創出イベント開催支援による誘客の促進	・「みなと祭」は規模を縮小し、境夢みなとターミナルを主会場として実施した（例年は駅前市営駐車場特設会場で実施）。 ・「境港妖怪ジャズフェスティバル」はコロナ禍により、開催中止となった。	・「みなと祭」は4年ぶりに水木しげるロード周辺（大正町大型バス駐車場）を主会場に実施予定。 ・「境港妖怪ジャズフェスティバル」は令和4年12月にプロモーターと協議し、時期尚早と判断し中止とした。
観光振興課	県、関係機関と連携した教育旅行の誘致やロケ地誘致の推進	・コロナ禍により落ち込む市内観光業支援を支援するため、また教育旅行誘致のため、市内観光地を訪れる学校に対し、地元登録店舗で使用できるクーポン券を配布した。 ・またNHKの人気番組「プラタモリ」「夏井いつきのよみ旅!」の収録に際し、ロケ班からの同行、作品募集の周知、関係機関との調整を図った。	・今年度、教育旅行誘致を目的とし、水木しげる先生を通じた平和学習プログラム（映像とテキスト等）を制作予定。 ・水木しげる記念館のリニューアル後、水木しげる記念館や市内小中学校の出前講座などで活用し、他の自治体とは異なる切り口で平和教育を伝え、今後の商品造成のツールとして誘致につなげる予定としている。
水産商工課	隠れた良いものの掘り起こしから販売促進を行う「いいものマルシェ」の開催支援	・令和4年12月11日、安来市で「いいものマルシェ」を開催。悪天候により、雨天のため途中中止となった。 ・令和5年3月23日松江市「山陰いいものマルシェでマッチング商談会」を開催（商談件数：37件）	・令和5年度は米子市で開催予定。
観光振興課	県、鳥取県西部地域（9市町村）などとの連携による広域観光の推進	・大山山麓・日野川流域観光推進協議会が中心となり、弓ヶ浜サイクリングコースでのイベントや、酒蔵ツーリズム、観光タクシーの実施など、広域観光の推進を図った。	・引き続き、大山山麓・日野川流域観光推進協議会が中心となり、弓ヶ浜サイクリングコースでのイベントや、酒蔵ツーリズム、観光タクシーを実施するなど、圏域内の観光スポットを一体的に広報するほか、つながるマルシェの開催を予定。

観光振興課	白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコースを活用した誘客促進	・大山山麓・日野川流域観光推進協議会が中心となり、弓ヶ浜サイクリングコースでのイベントを実施したほか、同コースでイベントを実施する団体への補助金の創設などにより、誘客促進を図った。	・令和4年度の事業を継続し、弓ヶ浜サイクリングコースでのイベントを実施する。 ・また、ナショナルサイクルルートの指定に向けて、本市では矢羽根を設置するほか、県内19市町村が連携し取り組むこととしている。
担当課	外国人観光客の誘客促進【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
観光振興課	県や関係機関、中海・宍道湖・大山園域との連携による大型クルーズ客船の寄港促進	・コロナ禍により、日本船4隻、外国船2隻の寄港にとどまった。	・令和5年度は28隻程度のクルーズ客船が寄港を予定している。
観光振興課	クルーズ客船、国際チャーター便等の外国人観光客に対するお出迎え・お見送りイベント、交流イベントなどの実施によるおもてなしの向上	・クルーズ客船出港時に地元伝統芸能団体やSUN-INまんなかクルーズファンによるお見送りイベントを実施した。 ・台湾チャーター便では鬼太郎による空港お出迎えや、園域自治体が連携し、パンフレット、おみやげを配布し、おもてなしの向上に努めた。	・国際クルーズ船の再開をはじめ、空路では春のソウルチャーター便、夏の香港チャーター便、秋にはソウル定期便が再開されることが決定したことから、引き続き関係機関と連携し、おもてなしに努める。
観光振興課	クレジットカード・電子マネー対応、免税店の開設、公衆無線LANの整備、多言語対応ガイドマップの作成などの外国人観光客受入体制の整備	・外国語観光パンフレットの作成や公衆無線LANの運営により、外国人受け入れ体制の推進を図った。	・引き続き、外国人観光客の受入体制の強化を図るとともに、令和7年の大阪万博開催に向けて、中海・宍道湖・大山園域観光局などの関係機関と連携して誘客対策の検討に取り組む。
観光振興課	Facebook、TwitterなどのSNSやYouTubeを活用した情報発信の充実	・記念館公式Twitterを活用した「Twitterキャンペーン」を開催し、SNS等を活用し休館等の情報発信を行った。 ・YouTubeにて妖怪文化伝承事業「妖怪一人語りの夜」を公開し、誘客促進を図った。	・水木しげる記念館が閉館中のため、再整備の状況等について、SNSフォロワーを通じた情報発信に取り組む。
水産商工課	外国語会話ができる人材育成のための教育の充実	【水産商工課】 ・中国からの国際交流員の着任がなかったため、取組実績なし。	【水産商工課】 ・中国からの国際交流員が着任（8月）し次第、中国語講座への講師派遣を再開予定。
教育総務課		【教育総務課】 ・中学校教員を対象とした英語指導力向上研修（テスト作成検討会）を実施した。 ・市内小中学校に英語指導助手（ALT）を6名配置した。 ・GTEC（スコア型英語テスト）を中学校3年生で1回実施した。 ・東京英語村（TGG）に中学生を派遣した。	【教育総務課】 ・小中学校管理職、教職員を対象に言葉の力を育む講演会を実施。 ・市内小中学校に英語指導助手（ALT）を6名の配置を継続。 ・英検IBAを中学生に実施。1・2年生は2技能、3年生は4技能で実施する。
担当課	米子鬼太郎空港・国際定期客船の利用促進【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
観光振興課	県や関係機関、中海・宍道湖・大山園域との連携による環日本海定期貨客船航路の安定化、利用促進への支援	・航路再開に向けて、関係機関と連携し情報収集を行った。	・航路再開に向けた情報収集を関係機関と継続して行い、航路再開に必要な対策を講じる。
観光振興課	県や関係機関と連携した米子鬼太郎空港活性化の推進	・インバウンド及びアウトバウンドの旅行商品造成の支援やラジオ・情報誌等を活用したPR活動を行った。	・旅行商品造成の支援やPR活動を継続して行う。
担当課	港湾の整備拡充と賑わいづくり【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
都市整備課	境夢みなとターミナル周辺地区の魅力向上への取組の検討	・令和6年度「みなとオアシスSea級グルメ全国大会in境港」の境夢みなとターミナルでの開催に向けた準備を進めた。 ・釣りを通じた賑わいづくりに向け、境港管理組合により利用状況の調査が行われた。	・「Sea級グルメ全国大会」の開催に向け、地元実行委員会を中心に実施計画を策定しプレイベントの開催や県外に向けたプロモーション活動を行う。 ・令和5年度は、境港管理組合が主体となり、境港公共マリーナや夢みなと緑地を含めた竹内南地区の整備計画が策定される予定であり、市も積極的に参画する。
水産商工課	物流拠点「境港」の利便性向上や航路ネットワークの充実を図るため、国内RORO船の定期航路化の推進	・境港管理組合において、船社・運行事業者と災害時応援協定締結に向け、協定内容を調整を行った。（運航実績はなし）	・境港管理組合において、災害時応援協定の内容の調整を継続、協定締結を目指す。

担当課	移住・定住の促進・情報発信の充実【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
都市整備課	月5,000円程度で100坪相当の土地が51年間賃借できる夕日ヶ丘地区の定期借地権制度を活用した移住・定住の促進	・従来からの定期借地権制度及び住宅地貸付制度を活用し、移住・定住の促進に取り組んだ。 〈移住・定住者（市外・県外出身者）の契約実績〉 契約件数10件、世帯人数40人	※夕日ヶ丘は、おおむね分譲が完了した。
都市整備課	大型輸送ヘリコプター配備など自衛隊美保基地のさらなる輸送機能強化への国への働きかけ	・C-2輸送機10機 ・KC-46A空中給油輸送機2機 ・CH-47J大型ヘリコプター2機	・R5年度 KC-46Aが2機配備される予定。
水産商工課	大学の水産関係学科や国・県の補助機関、研究施設、民間の研究機関などの設置に対する働きかけ	・鳥取大学との連携に向けた取組の一環として、R5.3月に水産に係る研究成果発表会をみなとテラスで開催した。	・鳥取大学、近畿大学等と連携(水産部門に限らず)検討
水産商工課	近隣市と共同での新卒大学生等を対象にした就職情報サイトの運営、就職フェアの開催など地元就職の支援体制の整備	・就職情報サイト「S-CT（エスクト）」により県外在住者への地元企業の魅力を発信したほか、しまね大交流会（オンライン開催）において地方の働き方セミナーを開催した。 ・また、鳥取県立ハローワークと連携し、地元就職のための足掛かりとするための地元企業見学会「オープンカンパニー」を実施した。	・引き続き「S-CT」、しまね大交流会への参画を通じて、地元企業の魅力発信を行う。 ・また、鳥取県立ハローワークと連携し、「オープンカンパニー」も実施していく。
農政課	地域おこし協力隊制度を活用した、地域の特産「伯州綿」事業の充実、移住・定住の推進	・地域おこし協力隊による伯州綿栽培、情報発信等 催し「てぬぐいひらひら」開催（10月）	・引き続き地域おこし協力隊制度を活用し事業を実施していく。 （令和５年度）地域おこし協力隊員1名（２年目）
水産商工課	産・官・学が連携し、インターンシップ実施、学生と企業のマッチング体制の充実など若者の定住施策を推進	・島根大学等が主催するしまね大交流会において、大学生等に地元就職のPR活動を行った。	・引き続き、しまね大交流会へ参画し、大学生等に対し、地元企業への就職促進に向けた取り組みを行う予定。
総合政策課	インターネットを活用した移住希望者への情報発信の充実	・市ホームページでの移住情報の提供や、ふるさと鳥取県定住機構主催のオンライン移住相談会に出席し、本市のPRを行った。	・引き続き、ふるさと鳥取県定住機構と協力し、ウェブ媒体（田舎暮らしの本）への移住者インタビューの掲載、また、オンライン移住相談会への出展を複数回行う。
教育総務課	本市への愛着を醸成し、将来のUターンにつなげるため、子どもを対象とした郷土愛づくりへの取組の推進	・小学3年生・小学4年生で、社会科副読本を使用した学習を実施。 ・コミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域の方をゲスト・ティーチャーとした学習を「総合的な学習の時間」及び生活科等で実施した。 ・地域で活躍される人材を学校に招聘し、働く人の思いを知るための講演会の実施した。	・小学3年生・小学4年生で、社会科副読本を使用した学習を実施。 ・コミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域の方をゲスト・ティーチャーとした学習を「総合的な学習の時間」及び生活科等で実施。 ・地域で活躍される人材を学校に招聘し、働く人の思いを知るための講演会の実施。
総合政策課	鳥取県西部地域で、都市部からの移住体験ツアーや誘致パンフレット作成など広域での移住施策の推進	・県西部の担当者による移住に関する情報交換会「お試ししゃべり場」を境港市で開催し、ノウハウの横展開を図った。	・日南町で「お試ししゃべり場」を開催し、県西部地域として移住を呼びかけるべく情報共有を図っていく。 ・また、西部地区を特集したふるさと鳥取県定住機構によるオンライン移住相談会に出展する。
総合政策課	将来的な移住にもつながる「関係人口」の創出・拡大	・中海・宍道湖・大山圏域市長会事業「若者を共に育てるプロジェクト」として、島根大学と連携し、学生が圏域各市の特色・戦略・課題を学び、成果発表をする機会を設けた。7月と10月にフィールドワークを実施した。 ・東京大学と連携し、「東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム」を実施し、「新しく開館する境港市市民交流センターを地元高校生に活用してもらうためには」というテーマで東京大学の学生から提案を受けた。	・引き続き、島根大学生によるフィールドワークを実施する。
総合政策課	東京一極集中の是正に向けた東京圏からの移住促進	・ふるさと鳥取県定住機構主催のオンライン移住相談会に参加し、本市のPRを行った。 ・東京圏からの移住者に交付する「境港市地方創生移住支援金」について2件の交付を行った。	・国・県の要件拡充を準用し、新たにテレワークに関する要件や関係人口に関する要件などが追加されたことについて周知し、活用の拡大を図る。
総合政策課	県外からの高校入学者の確保に向けたPR活動の実施	・鳥取県教育委員会から県外入学者募集の案内を事前に受け、鳥取県が実施する募集案内を市ホームページにも掲載し、鳥取県と協力してPRを行った。	・引き続き、県教育委員会と連携し、情報発信に協力する。

<基本目標②>「子育てするなら境港」を標榜した子育て環境づくり

担当課	出会いの場の創出【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
総合政策課	えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）と連携し、市内での出張相談会や企業の合同イベント等を実施	・市ホームページで情報発信を行い、えんトリー（とっとり出会いサポートセンター）の利用促進を図った。	・「境港出会い応援事業」として、えんトリーの登録料及びお見合い時にかかる費用を助成する。 ・引き続き、とっとり出会いサポートセンター「えんトリー」と連携して、出張説明会やイベント等を開催する。
総合政策課	未婚・晩婚化の解消を図るため、中海・宍道湖・大山園域（５市７町村）で一体となり、地域の特色を生かした交流会などの婚活支援事業を実施	・中海・宍道湖・大山園域（５市７町村）で、出会いバスツアーを企画し、出会いのきっかけづくりの場を提供する婚活支援事業を実施した。 ※参加者：鳥取県22人、島根県23人	・引き続き、ｅスポーツを活用した婚活イベントやバスツアーなど、未婚・晩婚の解消につながる事業を検討し、園域の特色を生かした婚活事業を開催する。
担当課	安心な妊娠出産環境・子育て支援の充実【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
健康づくり推進課	特定不妊治療と人工授精に要する経費の助成	・令和４年度より、不育症治療等への助成制度を新設。併せて、令和４年４月から保険適用となった不妊治療について、保険適用されない一部の特定不妊治療については、県が助成対象とした方への上乗せ助成を行うとともに、人工授精についても市独自で助成を行い、経済的負担を軽減することで、産み育てやすい環境づくりを行った。	・関連事業として、小児・AYA世代のがん患者等が希望を持ってがん治療に取り組めるよう、将来子どもを出産することができる可能性を温存するため、妊孕性温存療法、生殖補助医療等に要する一部の費用を助成し、経済的負担の軽減を図る。
健康づくり推進課	妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援の充実	・平成28年度より、子育て世代包括支援センターを整備し、専門の母子保健コーディネーターを配置。妊娠期からきめ細かい相談・支援を行っている。令和４年度からは、下記の事業の拡大等を行った。 ・出産子育て応援事業の開始（母子手帳交付時５万円、出生届時５万円を支給。LINEによる相談や情報提供） ・産後ケア事業のデイサービスの対象を産後１年まで拡大 ・妊産婦タクシー交通費助成の利用期間を拡大 ・妊婦インフルエンザワクチン助成の対象を産婦にも拡大	・産後ケア事業のデイサービス受託機関を増やす。 ・その他、各種事業の継続、活性化を図る。
子育て支援課	第３子以降の保育料の無償化や副食費の助成など保護者負担の軽減	・①～③について、継続して実施した。 ①第３子以降の子どもの保育料無償とした。（県と連携） ②第３子以降の子どもの副食費について、国の基準を外れる者に対し助成。（対象者93人）（市独自施策） ③認可外保育施設に通う第３子以降の子どもの保育料、幼稚園に通う２歳児で第３子以降の子どもの保育料を無償となるよう補助。（対象者9人）（市独自施策）	・世帯第３子以降の子どもに係る利用者負担が実質無料になるよう、事業を継続実施する。
市民課	県と連携し、医療費の助成対象（１８歳まで）の現状維持	・現行の助成対象（１８歳まで）を継続して実施した。	・令和５年度は継続実施、令和６年度から一部負担金を撤廃し、無償化する予定。
子育て支援課	ひとり親家庭の子どもの小・中学校入学に際し、支度金を助成	・小・中学校入学時に子ども１人あたり10,000円の助成を実施。（令和３年度）小学校入学11人、中学校入学20人（令和４年度）小学校入学8人、中学校入学24人	・小・中学校入学時に子ども１人あたり10,000円の助成を継続する。
子育て支援課	保育士の就労環境の改善を図るため、私立保育園の保育士を増員するための費用を助成	・加配保育士の配置に係る費用の助成や１歳児の保育に係る保育士の配置人数を国基準より多く配置した場合の費用を助成（県と連携）。	・国施策や県の事業に連動し、事業実施に取り組む。
子育て支援課	病気又はその回復期にある幼児・児童を対象とした病児・病後児保育の実施	・専用施設にて１歳～小学校２年生までの病気又はその回復期にある幼児・児童の一時保育を実施。 ・令和３年度より、米子市の病児・病後児保育施設（３施設）の広域利用を実施。（市内専用施設のべ45人利用、米子市施設のべ５人利用）	・継続して事業を実施する。

子育て支援課		【子育て支援課】 地域子育て支援センターにて下記の事業を実施。 ・0歳児の親子の交流会 ・利用者の親子による交流会（年1回） ・地域のボランティア団体による「絵本の読み聞かせ」（週2回） ・子育てサークルの活動への協力 ・親子の触れ合い（親子関係づくり）を促進し、コミュニケーションの向上へ向けた事業に取り組んだ。	【子育て支援課】 ・地域子育て支援センターでの事業を継続する。
健康づくり推進課	赤ちゃん教室、ブックスタート、親子関係づくり・地域交流促進のための学習会、講演会の開催など親子の関わりやコミュニケーション力向上に向けた事業の充実	【健康づくり推進課】 ・各事業について、新型コロナウイルス感染予防のため、事業の実施方法の変更等を行いながら、実施することができた。	【健康づくり推進課】 ・コロナ禍により、「赤ちゃん登校日」を「こころとからだの健康事業」に変更し実施する。
子育て支援課	地域資源・人材を活用した子育て支援施策の充実	・市内の保育園や幼稚園等で、銀鮭、クロマグロ、紅ズワイガニなど境港を代表する食材を利用した食育やフィッシュキッチン等を地元生産者(水産関係者、港ベジタース等)や地域ボランティアと協働で実施。（認可外施設を含めた、市内保育園・幼稚園等16園で実施）	・市内全ての保育園・幼稚園等において、継続して事業を実施する。
生涯学習課		【生涯学習課】 ・中学生が郷土の歴史を学ぶ材料として、本市出身の偉人を掲載したリーフレットを市内の中学2年生全員に配布した。	【生涯学習課】 ・中学生が郷土の歴史を学ぶ材料として、本市出身の偉人を掲載したリーフレットを市内の中学2年生全員に配布する予定である。
教育総務課	地域と学校が連携した地域の歴史・風土などを学ぶ「ふるさと学習」の充実	【教育総務課】 ・小学3年生・小学4年生で、社会科副読本を使用した学習を実施。 ・各小学校の社会科及び「総合的な学習の時間」において地域学習を実施。 ・コミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域の方をゲスト・ティーチャーとした学習を「総合的な学習の時間」及び生活科等で実施。 ・「たまえまる」を活用した平和学習の実施。	【教育総務課】 ・小学3年生・小学4年生で、社会科副読本を使用した学習を実施。 ・各小学校の社会科及び「総合的な学習の時間」において地域学習を実施。 ・コミュニティ・スクールの取り組みの中で、地域の方をゲスト・ティーチャーとした学習を「総合的な学習の時間」及び生活科等で実施。 ・「たまえまる」を活用した平和学習の実施。
教育総務課		【教育総務課】 ・保育園(所)、幼稚園との連携強化 ・未就学児についての相談業務の充実 ・小学校(特別支援学級)での体験入学	【教育総務課】 ・保育園(所)、幼稚園との連携強化 ・未就学児についての相談業務の充実 ・小学校(特別支援学級)での体験入学
子育て支援課	小学校、保育園、幼稚園の連携体制の充実	【子育て支援課】 ・保育園・幼稚園等、小学校職員、地域の方を対象とした研修会を実施した。 ・また、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、保育園・幼稚園等と小学校の連携につながる取組を各校区で工夫して実施した。	【子育て支援課】 ・昨年度に引き続き、市内保育園・幼稚園等・学校・地域を対象とした研修会を実施する。 ・各小学校区毎に交流事業を実施する。
都市整備課	外遊び環境の向上のための除草・維持管理体制の充実	・老朽化した上道東1号公園の滑り台を更新した。 ・委託やボランティアによる除草と併せて、職員による直営の除草により、状況に応じた除草を実施した。	・引き続き、計画的な遊具更新や効果的な除草の実施など、公園の環境整備に努める。 ・老朽化した遊具の更新のほか、幅広い年齢層や障がいのある人などが利用することができる遊具の設置を進める。
担当課	ワークライフバランスの啓発・支援【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
総合政策課	事業所を対象にしたセミナーの開催など、ワーク・ライフ・バランスや男女均等な能力活用についての周知・啓発の実施	・ワーク・ライフ・バランスに関する啓発チラシやポスターを配架・掲示したほか、市報や市ホームページで「働いやさしい職場づくり」、「ワーク・ライフ・バランス」を取り上げるなど、男女共同参画について広く市民に周知し、意識啓発を行った。	・市報の男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスに関する記事の掲載回数を増やし、引き続き啓発する。
総合政策課	男女がともに働きやすい就労環境実現に向けた啓発事業の実施	・商工会議所と連携を図り、「男女共同参画推進企業」の認定への推進および男女共同参画の啓発を行った。	・商工会議所と連携し、企業に向けた各種制度の周知を図る。

総合政策課	男性の家事・育児・介護参加が図られるような料理教室・介護教室の開催や休暇制度等の啓発事業の実施	・国が推進する男の料理教室「おとう飯（はん）始めよう」キャンペーンに参加し、内閣府のホームページに掲載され、意識啓発を図った。 ・男性版育児について市報で取り上げ、広く市民に周知した。	・男性の家事参加の推進に向け、料理教室や介護教室を開催、休暇制度等の啓発を行う。
担当課	女性の就労環境充実のための家庭介護負担の軽減【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
長寿社会課	地域、医療・介護の連携した地域包括ケアシステムの構築	・地域ケア個別会議（3回）を行い、事例を通して自立支援に向けた支援を考える。 ・市内事業所ケア事例検討会（2回）開催した。 ・多職種連携研修会（1回）はグループワーク等顔の見える関係づくりを目的としているためコロナ禍により中止とした。 ・また、西部圏域では医療・介護連携に係る意見交換会を毎月開催としていたが、コロナ禍だがオンラインでも開催しながら出来る方法で継続実施した。 ・各地区における見守り体制の構築については、支え愛マップづくり実施した地区がある等、コロナ禍により自粛されいた取組みが徐々に再開されつつあった。 ・また、避難訓練、移動販売、サロン活動等、様々な方法による体制づくりが行われた。	・地域ケア個別会議の継続実施・西部圏域（広域）一体となった取組の継続 ・生活支援コーディネーターによる地域の見守り体制の構築及び生活支援活動の拡充
長寿社会課	介護（認知症）予防教室の開催、健康診断の受診勧奨など健康寿命の延伸に向けた取組の実施	【長寿社会課】 「フレイル予防事業」として以下の取組みを行った。 ・フレイル予防講演会で東京大学高齢社会総合研究機構神谷哲朗先生を講師に講演会を開催。サポーターを含め205人参加。 ・フレイルサポーター養成講座を1回開催10人のサポーターが誕生。 ・フレイルチェック各公民館や保健相談センターで23回・延べ182人を実施。 ・「人生100歳時代!みんな一緒にフレイル予防大作戦」と題したフレイルやフレイルチェックについてをまとめたポスターを3,000枚作成し啓発を行う。 ・また、昨年度作成したフレイル予防実践動画のDVDを団体、個人へ配布し認知症予防を含めた、フレイル予防の取り組みを、住民自身が楽しく実践活用している。 ・運動機能向上事業として「いきいき百歳体操」の普及と自主的に行っている団体のフォローを行った（11回、延べ200人）ほか、認知症予防事業（47回、延べ1,159人）「高齢者ふれあいの家」等での講話やフレイル予防の健康教育等の実施（42回、延べ648人）、筋力向上トレーニング事業（232回、3,318人）などを実施。 【健康づくり推進課】 検診を受けやすい環境づくりとして以下の取組みを行った。 ・セット検診に企業専用枠を設け、企業単位でとりまとめ。 ・集団検診の予約にWeb予約を導入。 国保加入者に対しては以下の取組みを実施した。 ・人間ドック・脳MRI検査の申込みを受付 人間ドック：455人 脳MRI：196人 ・年齢で対象者を絞り、訪問や電話等による特定健診の受診を勧奨 40歳：37人 41歳：38人 ・特定健診未受診者への受診勧奨はがきを送付 9/30：3,694人 11/29：3,715人 ・「健康づくり推進計画」の評価委員会を実施し進捗状況を確認した。	【長寿社会課】 ・フレイル予防事業を柱として従来の事業を連動しながら継続していき、フレイル予防の取り組みを、住民自身が楽しく実践できる仕組みづくりを一層進める。 【健康づくり推進課】 ・国保人間ドックに対し、済生会境港総合病院での実施分について1カ月前倒し、7月からスタート。50人予約枠を増やし、Web予約も取り入れる。 ・企業単位での取りまとめをがん検診と人間ドックについても実施する。 ・健康づくり地区推進員による健診（検診）受診勧奨を地区ごとに計画し実施する。 ・「境港市健康づくり推進計画」については、令和6年度の見直しに向け、市民を対象に健康づくりに関するアンケート調査を実施する。
健康づくり推進課			

健康づくり推進課	市民の健康データ分析による生活習慣病予防、重症化予防、介護予防の取組の実施	・特定検診受診者のうち、糖尿病の重症化予測される人に対し、受診勧奨や生活支援を実施した。	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を開始する。 ・ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの事業を展開。 ・高齢者の通いの場の創出と既存の場を活用した保健指導を実施する。
----------	---------------------------------------	--	--

《圏域の目標》県境を越えた広域連携による住みたくする圏域づくり

担当課	国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
総合政策課	東アジアをはじめ世界に向けたゲートウェイ機能のさらなる活用	・海外商談会参加等支援補助金 ○実績 25事業所に対し3,600千円の補助金を交付 ○実施期間 令和4年5月1日～令和5年3月31日 ○補助対象者 圏域5市に本社または主たる事業所を有する中小企業等または複数の企業により構成されるグループ・団体 ○補助金額 補助対象経費の1/2 補助上限額10万円	・海外商談会参加等支援補助金の交付。
総合政策課	インド（ケララ州）・台湾（台北市）との経済交流の拡大	（インド・ケララ州） ・インターンシップ参加候補者（14名）向けオンライン日本語教育を実施 ・ラジャギリ工業技術大学と島根大学との交換留学生4名のインターンシップ（3社）、会社見学の受入（3社）を実施 ほか （台湾・台北市） ・中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書を締結（R4.10） ・建国花市で圏域PRを兼ねて物販支援を実施（R5.1） ・台北市内の経済団体、台日産業連携推進オフィス（TJPO）、日本台湾交流協会等を訪問し、今後の経済交流に向けて意見交換を実施（R5.1）	引き続き、インド（ケララ州）、台湾（台北市）との交流を促進する。
総合政策課	圏域の特徴ある資源の活用と産業の発展	・ビジネスマッチング商談・展示会2022in松江 圏域内企業の販路拡大、共同開発、技術支援、業務提携の促進等を図るため、10月13日くにびきメッセにて対面式で開催 ※参加企業：196社 商談件数：479件 ・医療・福祉・介護機器開発支援 不織布マスク用装着補助具「マスクサポート」の販売支援、医療廃棄物容器用電動開閉装置「ミューカス」の開発支援	・ビジネスマッチング商談展示会 ・医療・福祉・介護機器開発支援 ・圏域内マルシェ開催及び商談会
総合政策課	国内およびインバウンド観光の推進	・クルーズ客船おもてなし（寄港回数6回） 出港時の交流イベントと観光案内業務（中海・宍道湖観光協会会議に委託）を実施 ・圏域インバウンドプロモーション 欧米豪、台湾に向けたWEB、SNSを活用したプロモーションを実施するとともに台湾（台北市）での現地商談会（R5.2）を実施 ・国内広域観光プロモーション 出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進、大阪・お城フェス2022へ出展（8/12～8/14）、湯めぐりキャンペーン第4弾などを実施	・クルーズ客船おもてなし ・圏域インバウンドプロモーション ・国内広域観光プロモーション
担当課	未来をひらく交通ネットワークの形成【具体的施策】	令和４年度取組実績	令和５年度以降の取組（予定）
総合政策課	2つの湖を介する「8の字ルート」等の早期完成	・「圏域8の字ルート研究会」を立ち上げ、高規格道路ネットワークをいかしたまちづくりについて研究を実施 ・経済界が立ち上げた「8の字ネットワーク整備による効果分析検討会」と連携を進め、圏域の高規格道路ネットワークの整備促進に向け機運醸成を図った。	・中海・宍道湖整備推進会議を設立し、関係機関と連携して要望活動等を実施
総合政策課	重要港湾境港の利便性向上	・圏域内インフラ整備促進に関する要望（2回）	・圏域内インフラ整備促進に関する要望

総合政策課	新幹線ネットワークの整備	・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備に関する要望（2回）、中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議に対する負担金	・国土交通省に対する要望活動 ・中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議に対する負担金
総合政策課	航空路線の充実	・F D A路線と連携した誘客事業 仙台市にて現地イベント開催（3/4,5） ・出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港の冬季利用促進 「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」が実施する各空港の冬季利用促進事業の実施に係る経費の一部を負担	・「21世紀出雲空港整備利用促進協議会」及び「米子空港利用促進懇話会」への負担金 ・国内の観光需要を踏まえた情報発信
担当課	恵まれた生活環境を生かした圏域の形成【具体的施策】	令和4年度取組実績	令和5年度以降の取組（予定）
総合政策課	圏域への移住・定住の促進	・婚活事業 バスツアーによる婚活イベントを実施（鳥取：1回、島根：1回、合同：1回） ⇒カップリング：9組 ・東京大学との圏域キャンパス事業 東京大学が実施するフィールドスタディ型政策協働・体験活動プログラムに参加し、オンライン講座とフィールドワークを実施 ・島根大学・若者を共に育てるプロジェクト 圏域5市からフィールドワーク候補地や地域課題を提供し、フィールドワークを実施	・婚活事業 バスツアーによる婚活イベントを予定 ・東京大学との圏域キャンパス事業 ・島根大学・若者を共に育てるプロジェクト
総合政策課	自然環境の保全と活用	・「子ども探検スクール」、「環境フォトコンテスト」の開催、中海・宍道湖に関する自然環境の保全等に係る広報啓発・情報発信など	・子ども探検スクール ・自然環境の豊かさや保全等に係る情報発信